

石川 さわ子

議会レポート

ごあいさつ

札幌市議3期目の議会活動がスタートしました。所属委員会は財政市民委員会、総合交通政策調査特別委員会です。暮らしの声を受けとめ活かす市政の実現をめざします。皆様のご意見を是非お聞かせください。

笑顔あふれるまち・北区をつくります

石川 さわ子

2019年第2回定例市議会 代表質問 6月20日(抜粋)

● 市政への市民参加を増やし課題解決を

質問 市の政策に市民が意見を述べやすくするため、パブリックコメントの期間延長や公募委員がいる附属機関をふやし、より広く市民の意思を把握し市政運営に反映するべきですが、いかがか。

答弁 年末年始を挟む場合の募集期間の配慮や附属機関委員での公募を推進していく。

● 「札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン 2019^{*}」へ市民意見の反映を

質問 計画の前提となる長期的な財政の見通しを明らかにし、今後の計画が市民への過度な負担にならないようにすべき。また、計画の策定に当たって、子ども、若者、子育て世代、障がいのある方など市民が意見を出せるように情報を提供し、意見を反映すべきですが、いかがか。

答弁 市民アンケートやパブリックコメントに加えて、様々な世代が意見を交わすシンポジウムや若者向けのワークショップ等を実施し、市民意見を把握し計画へ反映する。

^{*}札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2019：「まちづくり」と「行財政」の取組を一体化した中期実施計画(2019~2022年度)



本会議場で代表質問に立つ 石川さわ子

市民ネットワークの議員控室が、市役所の17階に移動しました。お近くにお越しの際には、是非、お立ち寄りください。

懲罰特別委員会報告

開かれた札幌市議会に

5月13日の第1回臨時市議会で臨時議長を務めた松浦議員は、その際の言動が市議会の秩序を混乱させたとして懲罰を科され「除名」となりました。

■ 議長選挙は立候補制に

臨時会が混乱した原因は議長の選出方法にありました。札幌市議会では議長選挙は各派交渉会において議員の互選制と確認し、本会議で投票しています。一方、7政令市では候補者が公開の場で所信表明演説を行う、事実上の立候補制を採用しています。札幌市議会においても、さらに開かれた議会とするため、議長選挙は立候補制とすべきです。

■ 議員の「除名」に異議あり!

議会を混乱させたことに対し今回は懲罰を科すことには賛成しました。しかし、懲罰の種類である「戒告」「陳謝」「出席停止」「除名」の中で「除名」は最も重く、有権者が選挙で選んだ議員の地位を第三者である議会が奪うのは妥当ではありません。

■ 議会改革をすすめます

7月3日、第1回議会改革機能強化検討委員会が開催されました。市民ネットワークは議長選挙の立候補制と所信表明の実施や海外視察費の廃止などを提案しました。議会が市民にわかりやすくなるよう力を尽くします。